

2022年度大阪国際空港大気環境調査の結果について

調査期間

2023年3月1日（水）～3月7日（火）
（臭気調査は3月1日（水）に実施）

調査地点

- ・勝部地区・・大阪府豊中市勝部2丁目137番地
- ・西桑津地区・・兵庫県伊丹市桑津3丁目213番地の1



大気質調査結果

両地点において、環境基準等を満足する結果となりました。

項目名	環境基準・指針値	適否
二酸化硫黄(SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	適
一酸化炭素(CO)	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	適
二酸化窒素(NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm～0.06ppmのゾーン内、またはそれ以下であること。	適
光化学オキシダント(O _x)	1時間値が0.06ppm以下であること。	適
浮遊粒子状物(SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	適
微小粒子状物質(PM2.5)	1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。	適
非メタン炭化水素(NMHC)	午前6時から午前9時までの3時間平均値が0.31ppmC以下であること。	適

臭気調査結果

両地点において、基準値を満足する結果となりました。

項目名	基準値	適否
臭気指数(臭気濃度)	臭気指数、臭気濃度10未満であること。	適

2022年度大阪国際空港大気環境調査の結果について

【大気質調査結果】

調査項目	項目	環境基準・指針値	調査結果 3/1(水)～3/7(火)	適否
二酸化硫黄(SO ₂) (ppm)	1時間値の日平均値	0.04ppm以下	0.001 ～ 0.002	適
	1時間値の最高値	0.1ppm以下	0.001 ～ 0.006	
一酸化炭素(CO) (ppm)	1時間値の日平均値	10ppm以下	0.1 ～ 0.4	適
	8時間平均値の最高値	20ppm以下	0.1 ～ 0.4	
二酸化窒素(NO ₂) (ppm)	1時間値の日平均値	0.04ppm以下	0.005 ～ 0.0030	適
光化学オキシダント(O _x) (ppm)	一時間値の最高値	0.06ppm以下	0.041 ～ 0.053	適
浮遊粒子状物(SPM) (mg/m ³)	1時間値の日平均値	0.10mg/m ³ 以下	0.008 ～ 0.023	適
	1時間値の最高値	0.20mg/m ³ 以下	0.012 ～ 0.033	
微小粒子状物質 (PM2.5) (ppm)	一日平均値	1年平均値が15μg/m ³ 以下 一日平均値が35μg/m ³ 以下	4 ～ 14	適
非メタン炭化水素(NMHC) (ppm)	午前6～午前9時の 3時間平均値	0.31ppmC以下	0.06 ～ 0.22	適

【臭気調査】

調査項目	規制基準（大阪府）臭気指数 注3)	調査結果 3/1(水) 午前・午後	適否
臭気濃度 注1)	10	10 未満	適
臭気指数 注2)	10	10 未満	

注1).臭気濃度(人間の刺激量)とは、臭気のある空気は無臭の空気と臭気が感じられなくなるまで希釈した場合の当該希釈倍数をいう。

注2).臭気指数(人間の感覚量)とは、臭気濃度を対数変換したものであり、臭気濃度に比べ、人間の感覚量に近い対応を示す尺度である。臭気指数の計算式 $Z=10\log Y$ (Z:臭気指数、Y:臭気濃度)

注3).調査地点は臭気指数による規制基準がないため、規制基準は参考値である。